



栃木県森林組合連合会機関紙

発行／栃木県森林組合連合会

住所／宇都宮市西一の沢町8番22号

☎028-637-1450 FAX028-637-1454

URL/http://www.tochimori.or.jp

E-mail/info@tochimori.or.jp



第343号

2021新年を迎えて

栃木県森林組合連合会代表理事会長 江連比出市



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

系統森林組合員の皆様方には、平素より県森連の事業推進に格別のご理解とご支援を賜り、深く感謝いたしております。

さて、昨年は新型コロナウイルスの世界的な感染拡大という、想定外の一年となりました。見えない未知のウイルスへの対策、それに伴う感染拡大防止のための活動自粛による経済的打撃への対応と、これまでの日常生活や社会活動が一変してしまいました。

残念ながら感染の終息は見通せませんが、この正念場を乗り切るためにも森林組合系統が結束を強め、乗り越えていかなければならないと考えております。

こうした中、昨年には森林組合法が改正され、森林組合系統の経営基盤強化に向け、合併以外の多様な連携手法が導入されることとなったほか、正組合員の資格の拡大や、業務執行体制の強化策が講じられることとなりました。

栃木県内でも森林経営管理制度の着実な推進に向け、各地で森林環境譲与税を有効に活用するための意向調査等が進んでおり、森林組合系統では、とちぎの元気な森づくり県民税を活用した地籍調査にも意欲的に取り組んでいるところです。

森林組合系統としては、これまでも県産材の安定供給に努めてきたところですが、今後とも持続可能な開発目標（SDGs）にも対応した、積極的な事業展開に取り組んでいくこととしております。

結びに、本年令和3年は、森林組合改組70周年の節目の年で、われわれ森林組合系統を取り巻く諸課題解決に向けて具体的な行動を起こすスタートの年と考えておりますので、これまで以上のご支援とご協力をお願いいたしまして新年のご挨拶といたします。

政策要望活動の実施



福田知事に要望する林団連役員

昨年は、令和3年度県林業施策と予算や搬出間伐の促進支援に関する要望を福田知事に対して行ったほか、県選出自民党国会議員に対しても令和3年度林業施策等について要望を行いました。

今年も粘り強く要望活動を行ってまいります。

要望月日	要望内容	要望先	実施者
8月28日	令和3年度県林業施策並びに予算に関する建議・要望	福田知事	江連会長、小川専務、林業団体連絡協議会役員3名他
9月9日	令和3年度予算並びに県林業施策に関する要望	自民党栃木県支部連合会 とちぎ自民党議員会	江連会長、小川専務
11月26日	搬出間伐の促進支援に関する要望	福田知事	江連会長、小川専務、木協連役員
12月1日	令和3年度林業施策並びに予算に関する要望	県選出自民党国会議員	県森連（要望書郵送）
12月3日	令和3年度当初予算における林野公共・非公共事業予算に関する要望	県選出自民党国会議員等	県森連（要望書郵送）

令和2年度

栃木県優良木材（素材）展示会を開催

令和2年度秋季優良木材（素材）展示会が、栃木県との共催で、10月22日の鹿沼木材共販所を皮切りに、大田原木材共販所、矢板木材共販所の3会場で開催されました。

今年は、コロナ禍のため、全国の様々なイベントが中止となる中、県内の林業・木材産業の活性化になればとの強い思いから展示会を開催し、多数の優良材が出品され、販売量は10,051m³（前年比102%）平均単価14,310円（同107%）、販売金額142,609千円（同109%）と昨年を上回る結果となりました。

無事に展示会を開催できましたのは、関係森林組合のご尽力はもとより、組合員の皆様をはじめとします関係各位のご協力の賜物であり、心より感謝申し上げます。



展示会場入り口（大田原木材共販所）



優良材の展示風景（鹿沼木材共販所）



結果概要

会 場	月 日	数 量（m ³ ）		販売率（％）	販売金額（千円）	販売単価（円）	応札者数
		出荷数量	販売数量				
鹿 沼	10/22	4,955	4,880	98	70,422	14,432	71
矢 板	11/6	2,251	2,251	100	30,627	13,605	50
大田原	10/29	2,845	2,835	99	41,560	14,660	62
合 計		10,051	9,966	99	142,609	14,310	183
前 年		9,898	9,843	99	131,078	13,317	179
前年比（％）		102	101	100	109	107	102

受賞者のご紹介

農林水産大臣賞

銘 柄	出品者名	森林組合
ヒノキ中丸太	増山勝衛	栗野

林野庁長官賞

銘 柄	出品者名	森林組合
スギ大丸太	斎藤倉昶	那須町

栃木県知事賞

銘 柄	出品者名	森林組合
スギ中丸太	三森大輔	那須町
ヒノキ大丸太	高村俊之	日光市
スギ大丸太	大塚アサ	たかはら

関東森林管理局長賞

銘 柄	出品者名	森林組合
スギ大丸太	梁瀬武夫	たかはら
スギ大丸太	吉澤保全(株)	みかも
スギ中丸太	那須南森林組合	那須南

栃木県森林組合連合会長賞

銘 柄	出品者名	森林組合
ヒノキ小丸太	佐藤静代ほか1	日光市
ヒノキ小丸太	荒瀬共有	日光市
ヒノキ小丸太	福田和隆	日光市
スギ大丸太	森山良一	日光市
スギ中丸太	船生 進	鹿沼市
ヒノキ小丸太	大貫寿一	鹿沼市
ヒノキ中丸太	関谷栄大	たかはら
スギ小丸太	宇都宮大学	たかはら
ヒノキ大丸太	赤塚伸雄	たかはら
スギ小丸太	斎藤政光	たかはら
ヒノキ小丸太	桑野 功	那須南
ヒノキ小丸太	桑野ミヨ	那須南
スギ中丸太	帝国造林(株)	大田原市
スギ小丸太	雲嶺寺	大田原市
スギ小丸太	星田雅人	大田原市
スギ小丸太	室井賢一	那須塩原市

入賞者は掲載の方々です。
受賞おめでとうございます。

銘 柄	出品者名	森林組合
スギ小丸太	福田慎造	栗野
スギ小丸太	なかにし収造林会	栗野
ヒノキ小丸太	渡辺 保	鹿沼市
ヒノキ小丸太	福田久夫	日光市
スギ中丸太	茂木昭蔵	みかも
ヒノキ小丸太	福田一郎	日光市
スギ大丸太	大塚利一	たかはら
スギ小丸太	和氣晃一	たかはら
スギ中丸太	大嶋一予	たかはら
スギ小丸太	山口禮子	たかはら
スギ小丸太	那須南森林組合	那須南
スギ小丸太	那須町森林組合	那須町
スギ小丸太	斎藤政次	那須南
スギ小丸太	板室堂林組合	那須塩原市
スギ小丸太	須藤義朗	大田原市
スギ大丸太	佐藤昭夫	大田原市

役員研修会の開催

令和2年12月17日に各森林組合の代表理事組合長等のご参加をいただき、研修会を開催しました。

江連会長は、冒頭のあいさつにおいて「コンプライアンスの遵守はトップである組合長の意識が重要」との認識を示しました。

そのため、今回の研修会では、講師として全国森林組合連合会の佐々木太郎氏、県林業木材産業課の大野英克氏、県環境森林政策課の久保井修司氏を招き、コンプライアンスや森林組合法改正、とちぎ森林創生ビジョンなどについて、ご講演をいただきました。

その後、それぞれのテーマについて活発な意見交換が行われました。終了後、参加者からは理事・監事の役割が明確に整理でき、行政の動きも理解できたので、引き続き職責をこれまで以上に果たしていきたいとの意思表示もありました。



密を避け講演を聴く参加者たち

令和2年度 JForest全国森林組合代表者大会表彰受賞者の紹介



次の方々が全国森林組合代表者大会における功労者表彰や感謝表彰を受賞されました。皆様のご功績に敬意を表するとともに、お祝い申し上げます。

功労者表彰

(職員) 日光市森林組合
那須塩原市森林組合
栃木県森林組合連合会

中 村 光 明
井 上 富美枝
印 南 正 春

(作業班員等) 栗野森林組合
たかはら森林組合
那須町森林組合
那須町森林組合
芳賀地区森林組合

鈴 木 康 之
松 本 次 郎
高 秀 利 昭
大 畑 泰 志
小 池 憲 一

感謝表彰

那須町森林組合

高久 由美子

(敬称は省略させていただきました。)

森林組合職員連盟が清掃ハイキングを実施



八幡つつじ散策コースをハイキング

昨年11/17(火)に那須高原にて清掃ハイキングを実施しました。天気にも恵まれ、コロナ禍ではありましたが総勢69名の皆様にご参加いただきました。

ハイキングは那須自然研究路(健脚)コースと八幡つつじ散策(平坦)コースに分かれて行われました。マスクの着用のもと、それぞれが距離を保ちながら有意義な交流の時間を過ごすことができました。

ご多忙の中、ご参加いただきありがとうございました。大変お疲れ様でした。



ゴミを拾う参加者

しいたけ原木林等再生対策事業（原木林等伐採更新実証業務）の実施

原発事故により県内のしいたけ原木林は広範囲に汚染されたことから、安全な原木しいたけを生産するため、現在は西日本産原木を中心に県外から約20万本程度の移入を行っています。

これらの原木は県内産原木に比べ、輸送費等がコストを押し上げ、これからしいたけ生産の規模を拡大したり、新規に原木しいたけ生産に取組もうとする場合に大きな障害となっています。

本県は優良な原木林に恵まれ、首都圏という消費地が近いことから、地域資源を生かした地場産業としてしいたけ栽培が盛んとなってきました。このため、原発事故の影響を受けている原木林の再生を図り、従前同様に良質で安全な原木の生産を復活させることが、喫緊の課題となっています。



パレットに積載された原木



空間線量の測定

このようなことから、一日も早く県内産の安全なしいたけ原木を生産者にご利用いただけるように平成27年から原木林調査を行ってきましたが、昨年県内原木林の伐採更新による再生に向けた実証的な取組を行っています。



西日本からトラック輸送された原木



調査木の伐採



検体原木の調整



木口断面の調査



萌芽枝の検体採取



堆積有機物及び土壌の採取

原木林再生のための実証手順

- ① 施業実施前の調査等(空間線量測定、原木等の放射性物質濃度の測定等)
- ▼
- ② 施業の実施(更新伐、作業道作設等)
- ▼
- ③ 施業実施後の空間線量測定、萌芽枝等の放射性物質濃度の測定
- ▼
- ④ 実証結果のとりまとめ・評価・分析・報告

リモートセンシング技術を活用した地籍調査

RDI 航空レーザ測量

- レーザ観測密度：4点/m²以上
- デジタルカメラによる空中写真の同時撮影
- 調整基準点における座標較差(σ)：0.3m以内
- 成果：航測図根点座標,DSM,DEM(地表面の凹凸情報)
オルソ画像,境界木・筆界等の計測

情報
収集

リモートセンシング技術は、直接的に対象物に触れることなく、何らかの方法で対象物に関する情報を取得することを指します。地籍調査等の測量分野では、人工衛星や航空機等にセンサーを搭載し、対象物からの電磁波の反射、放射、散乱等を観測することにより、対象地の地形、地物、高低、植生、分布等についての情報を取得することをいいます。

オルソ画像



空中写真に境界を入れて
地番を明示

赤色立体図



濃淡で谷と尾根を判別
しやすく明示

林相図



樹種ごとに色を変えて
林相を明示

成果
提供確認
作業

※この事業は、栃木県環境森林部の補助を受けて実施しています。
(その一部には、とちぎの元気な森づくり県民税も活用されています。)

現在の地籍管理は、明治時代の登記簿及び地積測量図が基礎となっていますが、現在の技術からすると精度が低い状態にあります。本会では、一筆ごとの森林について、境界の測量、面積の測定を最新技術を用いて行い、その成果を地図(地籍図)及び簿冊(地籍簿)にまとめる調査を行っています。

・R2年度実施地区
(大田原市須賀川地区・那珂川町大那地地区・茂木町逆川地区)

1筆ごとの土地について、地図(地籍図)及び簿冊(地籍簿)にまとめられ、所定の手続きを経て法務局(登記所)に備え付けられます。



地図(地籍図)

簿冊(地籍簿)

緑の雇用による人材の育成

森林ワーカーの確保は喫緊の課題となっていることから、本会では森林組合等に就業した林業経験の少ないワーカーに対し講習や実習を行う「緑の雇用」事業による研修を実施しました。

この研修では、年次に応じて、様々な技能を身につけられるよう、集合研修で知識の習得や資格取得を行ってきました。特に、ハーベスタシミュレーターやドローン技術の活用など、カリキュラムの見直しも行いながら進めてきました。新型コロナウイルスの影響で開始が1ヶ月遅れましたが、集合研修は12月までに終了できました。

さらに、新たに令和4年度からはOJT研修の指導員資格がFL研修修了者以上となることから、このFL養成研修も実施しました。

「緑の雇用」研修事業の取組状況

(単位：人)

事業体名	FW研修			FL研修
	1年目	2年目	3年目	
たかはら森林組合	1	2		
栗野森林組合	2	3	2	3
鹿沼市森林組合				1
那須南森林組合	1	1		
大田原市森林組合	6			1
芳賀地区森林組合	1		3	3
みかも森林組合	1	3		2
日光市森林組合	2			
その他事業体	2	1	1	2
計	16	10	6	12



路網開設実習 (FW3)



素材生産実習 (FW1)

森林の仕事ガイダンス in 宇都宮を開催

優秀な林業労働の人材を確保するため、11/28(土)に宇都宮市内で「森林の仕事ガイダンス」を開催しました。県内の11の林業事業体と2つの関係機関がブースを設け、林業に関心を持つ方々の説明・相談に応じました。

参加者は、関東圏内の13人を含む44人でした。年齢は10代から60代で、平均年齢は33.9歳でした。

各ブースでは、仕事の内容や待遇、採用までの流れ等について熱心な質疑・応答が続き、活気あるガイダンスとなりました。

今後、実際の現場見学や作業体験、会社訪問などを行っていただくなどして、本格就業に繋がることを期待しています。

——— 参加いただいた林業事業体等 ———

那須塩原市森林組合
たかはら森林組合
日光市森林組合
鹿沼市森林組合

那須町森林組合
大田原市森林組合
那須南森林組合
(株)エフバイオス

(株)ヨネザワ・フォレスト
(株)栃毛木材工業
(有)小平建設
栃木県林業労働力確保支援センター



会場内全景



各ブースでの個別相談風景



県民の森のコーナー



「たかはらの森管理グループ」（栃木県森林組合連合会、たかはら森林組合・高原林産企業組合）は、栃木県県民の森の指定管理業務を平成25年4月1日から開始し、本年度で8年目を迎えたところです。

本年度は、コロナウイルスの感染拡大を防止するため、キャンプ場の縮小営業をはじめ、森林展示館、マロニエ昆虫館の感染防止対策の徹底、イベントについても6月末まで全て中止し、7月から規模を最小イベントを再開するなど、とても厳しい運営になりました。

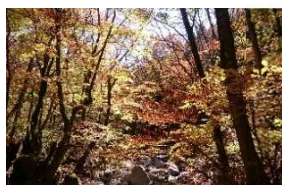
また、「新たな生活様式」や「業種別ガイドライン」に基づき、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら、常に利用者サービスの向上を目指し県民の森の管理を行ってまいりました。

そのような中、県民の森の次期指定期間（令和3年4月1日～令和8年3月31日）の5年間の指定管理者として引き続き管理運営を担うことになりました。

この5年間の指定管理期間で新たに取組むことは、キャンプ場内に「溪流釣り場」を新設することや、高床式テントサイトの一部を改修し「駐車スペース付きテントサイト」としての貸出、持込テントサイトの「区画の見直し」などを実施します。

また、利用者からご意見の多い「ヤマビル被害」についても、シカ柵の設置、落ち葉等の除去、薬剤散布等を実施し、被害を最小限に留める対策を講じて、利用者サービスの向上を目指します。

おわりに、これまでの経験と実績を活かしながら、新たなことへの「挑戦」を忘れることなく、皆様が安心して県民の森を訪れて頂ける日が来た際に、存分に自然を楽しんで頂ける場であるよう、スタッフ一同環境の整備に取り組んでまいります。今後とも変わらぬご愛顧を頂ければ幸いです。



令和3年度以降も県民の森の指定管理業務を受託しましたので、引き続きご愛顧くださるようお願いします。

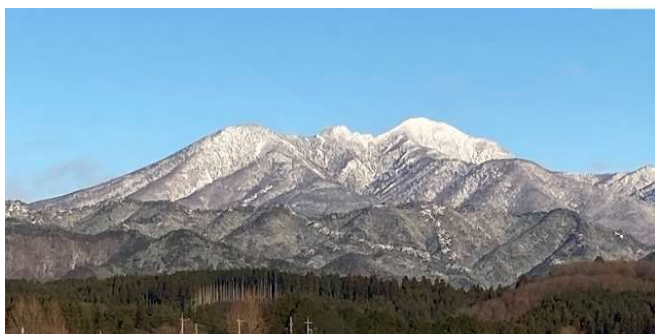
第1期（指定管理期間3年）
平成25年4月1日～平成28年3月31日



第2期（指定管理期間5年）
平成28年4月1日～令和3年3月31日



第3期（指定管理期間5年）
令和3年4月1日～令和8年3月31日

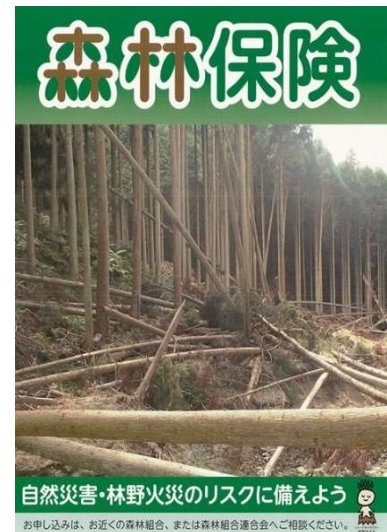


お知らせのページ

災害に備える森林保険への加入はお済ですか。

森林保険は台風や火災による森林への損害を総合的に補償します。
近年、相次ぐ災害への備えとしてご加入を検討してはいかがでしょうか？

詳しくは、お近くの**森林組合** または **栃木県森林組合連合会**
へご相談ください。

林退共は、林業に従事する方々のための退職金制度です。

林退共は、林業界で働く方々のために国が作った制度です。この制度は、事業主の方々が従事者の働いた日数に応じて掛け金となる共済証紙を共済手帳に貼り、その従事者が林業界を辞めたときに林退共から退職金を払う退職金制度です。

○掛金は、税法上、法人では損金、個人企業では必要経費となります。

○掛金の一部を国が援助します。

○雇用事業主が変わっても退職金は通算して計算されます。

【事業主の皆様へ】

共済手帳を所持している従事者が林業界を退職する時には、忘れず退職金を請求するよう指導してください。

飛沫飛散防止用パーティションの販売をはじめました。

木肌の美しい栃木県産のスギを使った本品は、温かみが伝わる仕上がりとなっています。状況に対応できるよう2タイプを用意しました。

コロナ禍の中で、企業活動を継続するための必須アイテムの1つです。企業やホテル等の受付に1台如何でしょうか。下の部分が開いているので、書類や鍵の受け渡しに支障ありません。



Aタイプ

サイズ W900mm×D240mm×H720mm



Bタイプ

サイズ W600mm×D140mm×H495mm